明光義塾ＴＶ2014

【国　　語】

HP 資料

個別指導の明光義塾

◎体を用いた慣用句や表現

『頭』
頭打ち　一定の水準に達し、それ以上伸びなくなること
頭があがらない　対等にふるまうことが出来ない
頭が固い　融通がきかない
頭から湯気を立てる　かんかんに怒る
頭を痛める　心配事で悩む
頭を冷やす　反省する、冷静になる
目頭が熱くなる　感動し泣きそうになる様
目頭を押さえる　感動で出る涙を押し戻そうとする様

『髪』
後ろ髪をひかれる　心残り・未練がある

『顔』
顔色を窺がう　心情を探ろうとする
顔が売れる　有名になる
顔が広い　有名である様
顔から火が出る　大変恥ずかしい様
顔に泥を塗る　名誉に傷をつける
顔向けができない　申し訳なく思う様

『額』
額に汗する　頑張って仕事をする

個別指導の明光義塾

『眉』

眉に唾をつける　用心する
眉を寄せる　不快な様
眉一つ動かさない　全く表情を変えない
眉を曇らす　心配をする様
眉を上げる　怒った様子
眉を開く　安心する
眉を読む　本心を読む

『目』

目が光る　厳しく監視をする
目が点になる　あきれた様
目が曇る　判断が鈍る
目くじらを立てる　些細なことで怒る、注意する
目の色を変える　怒ったり激しく興味を持つ様
目を細める　嬉しくなった様
目を皿にする　驚く
目を据える　一点をじっと見つめる

『耳』

耳が痛い　痛いところをつかれ聞くのがつらい
耳に残る　記憶に残る
耳に挟む　ちらっと聞く
耳を疑う　聞き間違いではないかと疑う

『喉』

喉から手が出る　気持ちが抑えられないほど欲しい

個別指導の明光義塾

『鼻』
鼻息が荒い　強気な様子　興奮状態
鼻が高い　誇りに思う
鼻で笑う　見下して笑う様子
鼻にかける　得意げになっている様
鼻につく　うっとうしく嫌な気持ち
鼻を高くする　得意になる　自慢する

『頬』
頬を染める　恥ずかしがる　顔を赤くする
頬が緩む　にやつく

『口』
口が重い　口数が少ない　無口だ
口が堅い　軽々しくもらさない
口が過ぎる　失礼なことを言う
口が減らない　言い訳を繰り返す
口火をきる　最初に話し始める
口を酸っぱくする　何度も繰り返し注意する
口をとがらす　不満そうな顔　反論する

『舌』
舌が回る　良くしゃべる
舌を出す　馬鹿にする　恥ずかしがる
舌を巻く　驚く　感心する
舌を吐く　ひどくあきれる

個別指導の明光義塾

『歯』
歯を食いしばる　苦痛や無念さをこらえる
歯を噛む　残念がる　悔しがる

『顎』
顎で使う　傲慢な態度で人を扱う
顎を撫でる　満足・得意げな様

『首』
首を突っ込む　感心を持ち興味を示す様　没頭する
首を長くする　期待して待つ様
首を縦に振る　賛成
首を横に振る　反対

『肩』
肩で風をきる　得意げになって歩く様
肩の荷がおりる　不安が無くなり気が楽になる
肩身が狭い　世間に対して面目が立たない
肩を入れる　後援する　ひいきする
肩を落とす　しょんぼりする　気落ちする
肩を貸す　手助けをする

『手』
手が付けられない　手段・方法がない
手がふさがる　他のことが出来ない状況にある
手が回る　注意・配慮がいきわたる
手に汗握る　緊張感を表す様子
手を握る　協力する　和解する

個別指導の明光義塾

『腕』
腕を上げる　上達する

『指』
指をくわえる　うらやましく思う

『胸』
胸が痛む　嫌な気持ちになる　心が痛い
胸が晴れる　すっきりとする
胸に納める　言葉に出さず心に秘めておくこと
胸を躍らせる　とても期待する
胸を撫で下ろす　安心する
胸を張る　堂々とする
胸が熱くなる　感動がこみあげてくる
胸が騒ぐ　激しく動揺する
胸を弾ませる　期待をして楽しみに待つ

『心』
心が痛む　申し訳ない気持ちで胸が苦しくなる
心が通う　互いの気持ちが通じ合う
心が騒ぐ　心配や不安になる様
心が弾む　期待し楽しい気持ちでいる
心が晴れる　心配事が無くなりすっきりする

『腹』
腹を決める　決心をする
腹を割る　隠さないこと

個別指導の明光義塾

『肝』

肝が据わる　度胸があり落ち着いた様子
肝に銘じる　強く心にとどめておく
肝を冷やす　ぞっとする　ひやりとする
肝を砕く　あれこれと思い悩む

『腰』

腰が重い　なかなかその気にならない様
腰が据わる　落ち着いて物事をする
腰が抜ける　驚く様　気力がなくなる
腰が低い　丁寧な様
腰が軽い　気軽に立ち働く　軽率な行動をとる
腰が高い　横柄　尊大である

『足』

足が重い　なかなか行動に移せない
足元を見る　相手の弱みに付け込む事
足を洗う　良くないことをやめる
足を引っ張る　周りに迷惑をかける
浮足立つ　浮かれている
二の足を踏む　人と同じ失敗をする

個別指導の明光義塾

◎ 作文を書く際の注意点

★原稿用紙の使い方

① 文の書き出しは1マス空ける

② 句読点や「」も1マスに数える

③ 「ゃ」「ゅ」「ょ」「っ」などの小さい文字も1マスに書く

④ 会話文は行をかえて一番上から書き始める

⑤ 会話文の末尾は。と 」を1マスに書く

⑥ 句読点や」が行の先頭に来る時は、文末の字と一緒に書く

⑦ 段落をかえた場合も1マス空けて書き始める

⑧ 「～こと」は「～事」ではなくひらがなで書く

※例　わたしの趣味は、兄と野球をすることです。

個別指導の明光義塾

★話し言葉と書き言葉（作文は書き言葉で書く）

（話し言葉）		（書き言葉）
してる	↓	している
だいたい	↓	およそ　約
いっぱい	↓	多くの
すごく	↓	とても、非常に
でも	↓	しかし
みたいに	↓	ように
もっと	↓	さらに
いろんな	↓	いろいろな
みんな	↓	みな
ちょっと	↓	少し
ちゃんと	↓	きちんと
しちゃった	↓	してしまった
なので	↓	だから、このため
～とか	↓	～など
けど	↓	けれど
携帯	↓	携帯電話
部活	↓	部活動

個別指導の明光義塾